

(様式第2号)

事業所名 グループホーム佑紀苑 佐賀

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 令和 7 年 5 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 (8)	現在は居室で面会できるようになったが、油断はできない。県外から帰省され、外泊を希望される。外泊は良いのだが、帰苑された後、腰の痛み・打撲痕があったりした。ご家族も何も状況を話されなかった。感染症も気になっている。	外出時・外泊時、帰苑前後の家族との連携をしっかりと、不安なく外出・外泊ができること。	外出・外泊の連絡があった時、ご家族様の健康状態を聞き把握。本人の状態を報告。転倒怪我などないように願います。帰苑前自宅で検温など行い、状況を報告してもらい。帰苑後は、検温・打撲などないか確認する。	12ヶ月
2	33 (12)	重度化や終末期の説明をし同意を得ているが、看取りを続けて3回行った。ご家族様からは、喜んでもらえたが、いつになるか分らず、スタッフの負担が大きかった。	医療・家族・スタッフとの連携を取りながら、できる範囲で行う。ご家族様・スタッフの健康にも配慮する。	要介護3くらいになられたら、特別養護老人ホームを予約してもらい。寝たきり状態になったら入所してもらいが、空きがなく医療が必要なら入院してもらい、自然のまままで老衰状態の場合は苑で看取る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。